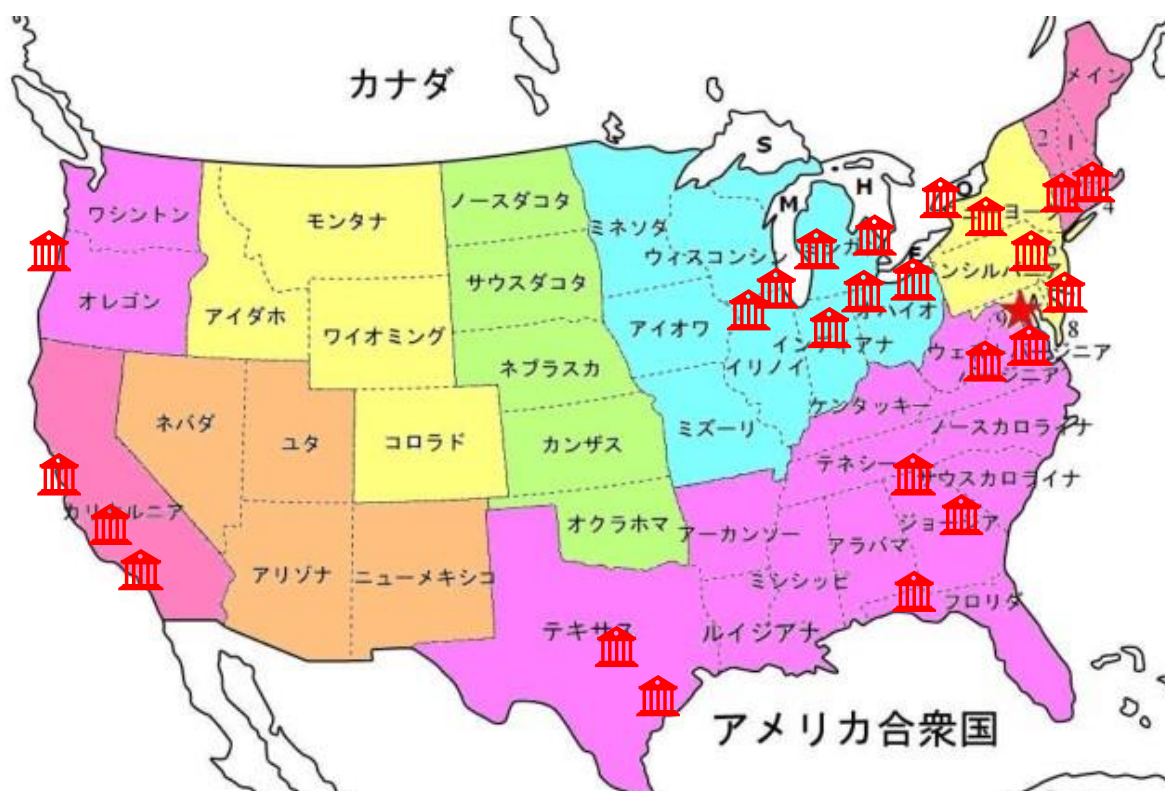


LCE 北米グローバル・スチューデントフォーラム (GSF) 実施報告

- 日時：2021年10月9日(土) 10:00-12:00
- システム：Zoom 遠隔会議システム/グループディスカッションはブレイクアウトルーム利用
・日本人学生3, 4名、+アメリカ人学生3, 4名の割合。
- 参加学生：
 - ・事前登録学生数：約90名
 - ・当日参加学生：約50名
 - ・日本からは主に首都圏や中京、近畿地区私大に加え、全国各地の国公立大、また現役高校生も果敢に参加。
 - ・米国からは、日本語を勉強してる学生（とは言え専攻はコンピュータサイエンス、法学、経済学など様々）を募集し、約20名以上が参加しました。大学はコーネル大やペンシルバニア大などのアイビーリーグ名門校、ノースウエスタン大、ボストン大、ミシガン大、カリフォルニア大バークレー校などの超難関校から、ジョージア大、バージニア大、フロリダ州立大などの南部有力校や、テキサス農工大やバージニア工科大、ジョージア工科大などの理系学生、更にはマサチューセッツ州やオハイオ州などの北東部の小規模ながら優秀なプログラムを提供するリベラルアーツ系大学からの参加もあり、多様性溢れるゲスト陣となりました。



- ・参加学生には、同室になった学生達の学校名や学年などを見て自然とヒエラルキーが出来てしまうことを避ける為に、名前だけを表示し、学校名や学年は伏せて参加頂きました。結果、コミュニケーションに大切なのは、学歴や年齢では無く、いかにその場で自分から行動し話しかけ会話を造るか？だという点に気付いて頂けたようです。

●内容および時間：

- ・司会進行は英語を主軸に、

10:00-開始。挨拶&手順説明。アメリカ人学生を一人ひとり紹介。

10:30-11:00 第1部：NOW=自己紹介や趣味、学びについて

11:00-11:30 第2部：FUTURE=コロナが与えた学びや就活、将来の仕事について

- ・ブレイクアウトルーム機能を利用し濃密なディスカッションとなりました。

●特質：

- ・開始直後の第1部は流ちょうな日本語を喋るアメリカ人学生達に圧倒されて、日人学生達もつい日本語で対応してしまい日本語だけで会話が成立してしまうグループが多かったために、ハーフタイムの全員集合時にLCEサイドからは；

『アメリカ人は日本で話すように、日本人は英語で話すように努力してみましょう！それで会話が成り立つのがグローバルコミュニケーションの面白さ楽しさなのです！実際の企業現場やグローバルな交渉の場面でも一つの言語だけでおさまらない事も多いので、是非“チャンポン”（日本の野菜や肉が沢山混ざったラーメン）、“Gumbo”（アメリカ南部名物のごった煮料理）チャレンジ精神で頑張ってください！』と伝えました。

●果敢にも高校3年生で参加したN.Yさん（高校3年生/女子）のコメント：

『前回より少し慣れたのかグループの方々と沢山お話できました！前半は日本語ばかりになってしまったのですが後半は皆さん英語を使っていて私も英語でtryしました！前回に増して楽しくなりました！次のプログラムも是非参加させてください♪』

今回も非常に濃密なイベントとなりました。

是非とも早いタイミングで次の機会を設定したいと思います。

-t.k.